

ベミデタッチ®

®は登録商標

- 有効成分：グリセリン酢酸脂肪酸エステル・・・・・・・・・・80.0%
- 人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

ベミデタッチ®はコナジラミ類の忌避剤で、殺虫効果はありません。
従来の薬剤と異なりますので、下記に従ってご使用ください。

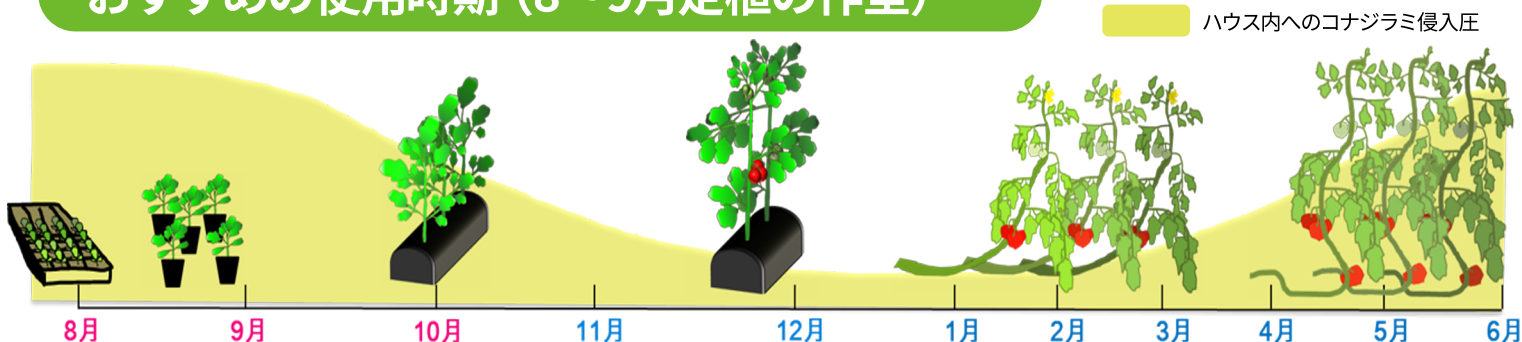
ベミデタッチ®の上手な使い方

- ★トマトの生育初期～コナジラミ飛込み終了時期*に使用してください。
- ★7日間隔で上記の期間、連続散布（8～12回程度）してください。
- ★施設栽培で、飛込みを防ぐため必ず防虫ネット（0.4mm以下）を展張してください。
- ★天敵・訪花昆虫にほとんど影響がなく、IPM防除体系で使用できます。
- ★使用に当たっては、都道府県等の関係機関と十分相談してください。

*生育初期のトマトはタバココナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病に感染しやすいです。



おすすめの使用時期（8～9月定植の作型）



**ベミデタッチ®
使用推奨時期**

- ・使用開始時期はトマト生育初期（トマト黄化葉巻病の感染苗は定植しない）
- ・コナジラミのハウスへの飛込みが終了する11月上旬頃まで7日間隔で8～12回程度の連続散布。低温多湿条件となるハウスのサイドを閉め切る時期は果実、莖葉部に薬害が生じる場合があるので、使用を控えてください。
- ・軟弱徒長苗や草勢の落ちた株に対して薬害が生じる場合があるので、使用を控えてください。
- ・コナジラミが寄生する葉裏に十分かかるように散布してください。

※展着剤を加用する必要はありません。

適用病害虫と使用方法

*印は本剤およびグリセリン酢酸脂肪酸エステルを含む農業の総使用回数

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	使用方法	総使用回数*
トマト ミニトマト	コナジラミ類 うどんこ病	500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	散布	—

※本印刷物は2022年8月時点での知見に基づいて作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

ベミデタッチ®の混用事例

混用事例について

- この混用事例表は使用者が混用する際の目安となるように、物理化学性・薬害等の試験例・事例を参考にまとめたものです。混用事例を紹介するもので、混用を薦めるものではありません。
- 全国的に見た一応の目安として作成しており、地域・産地で経験や知見がある場合は本表より優先させてください。
- 農薬は単用でも作物の種類、品種、生育ステージ、気象・栽培条件などによって薬害を生じる場合があります。
- 不明な点は専門の技術者に相談してください。また、混用にあたっては各薬剤の製品ラベルをよく読んでください。

●：混用して問題がなかった
▲：薬害の点で問題がある

◎：使用直前の混用なら問題なかった
空欄：表記するに足りない知見や経験に乏しい

【生育期】 育苗期～着果前まで
【収穫期】 着果後～収穫終了

殺虫剤

薬剤名	トマト	
	生育期	収穫期
アカリタッチ乳剤	●	▲
アクタラ顆粒水溶剤	●	
アグリメック	●	
アタプロン乳剤	●	
アドマイヤー顆粒水溶剤	●	
アニキ乳剤	●	●
アフーム乳剤	●	●
アブロードエースフロアブル	●	●
ウララDF	●	●
エコピタ液剤	●	●
カスケード乳剤	●	
クリアザールフロアブル	●	●
グレーシア乳剤	●	
コテツフロアブル		●

薬剤名	トマト	
	生育期	収穫期
コルト顆粒水溶剤	●	●
コロマイト乳剤	●	●
サフオイル乳剤	●	●
サンクリスタル乳剤	●	●
スタークル顆粒水溶剤	●	●
スピノエース顆粒水溶剤	●	
スミチオン乳剤	▲	
ダントツ水溶剤	●	●
チェス顆粒水溶剤	●	●
ディアナSC	●	●
テルスターフロアブル	●	
トランスフォームフロアブル	●	
トリガード液剤	●	
トルネードエースDF	●	

薬剤名	トマト	
	生育期	収穫期
ノーモルト乳剤	●	●
ファインセーブフロアブル	●	
フェニックス顆粒水溶剤	●	
フーモン	●	
プレオフロアブル	●	●
プレバソンフロアブル5	●	●
ベストガード水溶剤	●	●
ベネビアOD	●	●
マッチ乳剤		●
マラソン乳剤	◎	
ムシラップ	●	▲※
モスピラン顆粒水溶剤	●	●
モベントフロアブル	●	●

※果実に薬害のおそれがある

殺菌剤

薬剤名	トマト	
	生育期	収穫期
アフエットフロアブル		●
アミスター20フロアブル		▲
園芸ボルドー	●	▲※
インプレッションクリア	●	
オーソサイド水和剤80	●	▲※
オキシラン水和剤	▲	
カーゼートPZ水和剤	●	●
カスミンボルドー	●	●
銅パース水和剤	●	●
カリグリーン	●	●
カンタスドライフロアブル	▲	●
クプロシールド	●	
ゲッター水和剤	●	
サブロール乳剤		●

薬剤名	トマト	
	生育期	収穫期
サンヨール	●	●
ジーファイン水和剤	◎	◎
ジマンダイセン水和剤	●	●
ジャストミート顆粒水溶剤	●	●
ショウチノスケフロアブル	●	
スミレックス水和剤		●
セイビアーフロアブル20	▲	●
ダコニール1000	▲	▲
ドイツボルドーA	●	
トップジンM水和剤	●	●
トリフミン水和剤	●	●
ネクスターフロアブル	●	
ニマイバー水和剤		▲※

薬剤名	トマト	
	生育期	収穫期
パレード20フロアブル	●	
ファンタジスタ顆粒水溶剤		●
フルピカフロアブル	●	
プロポーズ顆粒水溶剤	▲	▲
ベルコートフロアブル	◎	
ホライズンドライフロアブル	●	●
ポリオキシシンAL水和剤	●	●
モレスタン水和剤	▲	▲※
ランマンフロアブル	●	●
リドミルゴールドMZ	●	●
レーバスフロアブル	●	
ロブラール水和剤	▲	
Zボルドー	●	

※果実に薬害のおそれがある

- ・ 上記薬剤以外の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- ・ 混用によって薬害を生じる薬剤を散布する場合は、散布前後7日以上間隔をあけて使用してください。
- ・ 特に TPN を含む農薬は、薬害を生じるので混用しないでください。



本製品は、理化学研究所の特許実施許諾を受けています。



本商品は、戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 「次世代農林水産業創造技術」の研究成果を活用しています。



石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号